

令和6年度 後期の学習状況について

後期の学習状況について下記のとおり報告します。

記

1. 学習状況

(1) カラーテスト結果 (10月から3月まで)

以下の結果を受けて、課題の多い学年については、学習方法を改善したり、人的支援や学習補充時間を活用した個に応じた指導の充実を図ったりする。

表1 個人内平均値のステップごとの人数の割合 (単位: %)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
ステップ5(+10以上)	69	4	17	19	41	56
ステップ4(+5から+9)	16	38	41	44	24	19
ステップ3(0から+4)	4	21	24	19	13	17
ステップ2(-5から-1)	6	15	9	8	13	4
ステップ1(-6以下)	6	23	9	10	9	4

※ 対象教科を1,2年:国算、3,4年:国社算理、5,6年:国社算理英とし、実施したすべてのカラーテストについて、個人の結果と全国平均との差の平均値を個人別に求めた。個人内平均値の結果を5つのステップに分け、人数の割合を表にした。

(参考)

表2 R6. 4-10 前期の個人内平均値のステップごとの人数の割合 (単位: %)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
ステップ5(+10以上)	88	2	24	44	40	57
ステップ4(+5から+9)	1	22	31	29	29	18
ステップ3(0から+4)	1	17	19	11	22	14
ステップ2(-5から-1)	4	13	16	10	4	4
ステップ1(-6以下)	4	46	9	6	4	6

- (2) 令和6年度 総合質問紙調査「iCheck (1年から6年)」結果 (12月実施)
 後期は1年生も対象だった。項目別の回答の傾向は前期と同様の傾向だった。
 以下の結果を受けて、学級の規範意識を高めること、子供の発信力を高めることに引き続き取り組む。

表3 調査結果の平均値からみる本校の子供の様子

カテゴリー	項目	
肯定的な 回答が多 い項目	【生活習慣】	朝食は毎日食べていますか。
	【充実感と向上心】	勉強やスポーツ、習いごと、しゅみなどで、今がんばっていることがありますか。
	【家族のささえ】	家の人は、あなたが努力してがんばったとき、それをほめてくれますか、認めてくれますか。
	【家族のささえ】	あなたにとって、家は心のやすらぐ場所だと思いますか。
	【友だちのささえ】	あなたの気持ちを分かってくれる友だちがいますか。
肯定的な 回答が少 ない項目	【学習意欲】	好きな教科や授業がありますか。
	【学級の規範意識】	クラスの人がふざけたり、おしゃべりをしたりして、授業に集中できないことがありますか。
	【発信力】	あなたは、学校生活の中で他の人が発言したり、発表したりするときに、質問をしていますか。
	【発信力】	あなたは、学校生活の中で発言をするとき、他の人と同じ意見だった場合でも、自分なりに考えて発言していますか。
	【生活習慣】	平日 (月～金) は、何時ごろ寝ますか。

2. 学習状況改善の視点

項番1の結果を受けて、以下の項目について指導することで、後期の学習状況の改善を図る。

表4 本校の学習指導における16の視点

No	項目
1	学習内容について、子供が自分の言葉で説明できるように指導する。
2	学習している内容は、簡単すぎず、難しすぎず、ちょうどいいものを設定する。
3	学習した内容を覚えているか、自分で自分にテストをするように指導する。
4	先生や友達から、できている点やできていない点について、アドバイスをもらうように指導する。
5	同じ教科の学習ばかりするのではなく、交互に学習するように指導する。
6	聞く・読む・見るなど、色々な方法で覚えるように指導する。
7	楽しみながら学習できるように工夫する。
8	学習した内容どうしの関係を、図や表にまとめて覚えるように指導する。
9	新しく学習する内容は、前に学習した内容とのつながりを考えるように指導する。
10	学習するとき、分かりやすい内容から理解し、それから難しい内容を理解するように指導する。
11	学習するとき、自分なりに例を考えるように指導する。
12	学習するとき、「そもそも」や「なぜ」について考えるように指導する。
13	学習内容の流れや全体像をふまえて、学習内容を覚えるように指導する。
14	短い時間で学習しようとせず、長い時間をかけて、学習した内容どうしを関係づけて覚えるように指導する。
15	学習した内容が、その教科の学習場面以外でも活用できるか考えるように指導する。
16	かたよった考え方をしていないか、自分の考えに意識を向けるように指導する。

以 上